

いちき串木野市地域学校協働活動

学校応援団だより

～できることを できるときに できるところから～

No. 4-3(199)

＝みんなで支える学校 みんなで育てる学校＝

令和4年6月3日

いちき串木野市地域学校協働活動事業本部

イモ苗（からいもつら）植えの支援

羽島小学校では、5月24日（火）に2年生がイモ苗（からいもつら）を植える活動がありました。ボランティアの方が学級園に畝を作り、マルチを張って植え付けられるように準備をされました。

2時間目には準備ができていて、まず竹の棒と苗を持って植え付け方①～⑥の説明をしてもらい、さっそく植え付けに取りかかりました。

- ① 苗を差し込む竹の棒の準備
- ② 苗をもらう
- ③ 苗の元を竹の棒に挟む
- ④ 45度に傾けてマルチに差し込む
- ⑤ 黒いしるしまで差し込む
- ⑥ 竹の棒を抜いて苗の周りを抑える

児童は、説明の意味が分かりづらかったのか、初めは手がなかなか動かない様子でしたが、周りのボランティアの方に教えてもらってやり方が分かたら作業が進みました。

苗は地域の方からの寄贈で、植えやすい長さ、しっかりした新鮮なもので、子ども達もしっかり苗を植え付け棒で挟んで差し込み、順調に作業が進みました。

4列に作った畝に20本ぐらいつつ植え付けたので全体で80本ほどになりました。

「秋の収穫までにどれだけ大きなイモができるかな？」という宿題が出されて、児童もこれから楽しみにして関心を持ってつるの成長を見ていくことでしょう。



竹に挟んでね…差し込むんだよ



もう植えるところはないかねえ

川上小学校では、5月27日（金）にイモ植えをしました。天候も晴れていい天気の下で喜んでできました。校庭のわきの学校園で推進員の田淵さんに植え方を教えてもらって



右；植え方を教えてもらう



左；みんなで植え付けました

て全校児童みんなで植え付けることができました。田淵さんのイモの話でいろいろなことが分かりました。

ALT のイサンさんも一緒にイモ植えができました。

麦の刈り取り支援

川上小学校では、5月27日に「イモ苗の植え付け」作業をして、31日（火）には麦の刈り取り作業をするのに支援してもらいました。

去年は、大麦の栽培でしたが、今年は小麦でした。5時間目に3年生以上の20名が校庭に集合し、作業についての説明や手伝いで参加された田淵さん、川島さんの紹介があって作業に入りました。

体育館横の畑に植えられた小麦を、みんなで刈り取り、結び（束ね）、体育館まで運ぶの三つの作業に合わせて、ほぼ7名ずつの3組（学年交じり）に分けられて仕事を分担しました。

刈り取る・・・ばらばらの株をつかむほうの手で持って、反対の手で「のこ鎌」の刃を合わせて鎌を引いて切り取る。つかんだ分をしっかりと刈り取るようにして、刈り残しがないようにする。つかむほうの手は親指が上になるように麦をつかむ。
結ぶ（束ねる）・・・刈り取った麦を集めて結ぶ作業。麻ひもでゆるまないように結ぶ。持ちやすい大きさにする。

運ぶ・・・体育館2階まで運び、手すりにかけて乾燥する。束をねじって分けてかける。上級生は方法が分かっていたりリードしていた。

児童の多くは、稲刈りなど似た作業は体験しているようですが、株が分かれている稲とはちがって、「刈り取り」も「束ねる」も難しそうでしたが、一生懸命動いている様子が見られました。

狩り残しを刈り取ったり、落ち穂があちこちにあり、集めて束ねる子どももいて、作業は5校時の1時間足らずできれいに終わりました。「よくできたね。」とボランティアの方に褒められて、最後にフライドポテトのおやつをもらって食べ、全体の終了になりました。

刈り取った後の脱穀の方法は品種で変わるけれども、乾燥させなければならぬのは同じで、体育館の手すりでも乾燥させてから、後日脱穀し、小麦粉にして食べることになります。

大麦の時は、煎って「麦茶」にして飲めるようにしましたが、今回の小麦はどんなものになるのでしょうか。



刈り取る前の小麦畑



つかんで、鎌は引くようにしてね



な～んか 難しいねえ



運び役で～す

連絡先＝市来庁舎3階 市教育委員会社会教育課
(TEL 21-5128) (FAX 36-5044) / ご意見・質問・相談もどうぞ
統括コーディネーター (串木野地域 濱田俊浩) (市来・生福地域 有元 操)

